

「さあ、みんなで、考えよう」

「最近の日本のノーベル平和賞候補は？」

1949年、日本人として初めて湯川秀樹さんがノーベル賞を授賞しました。広島原爆投下および長崎原爆投下からわずか4年後、原子力爆弾の基本理論に近い素粒子理論である「中間子理論」などの研究によるのです。以降、2017年の長崎出身で現在、ロンドン在住のカズオ・イシグロさんの文学賞受賞まで、計26名の受賞者(このうち3名が受賞時点で外国籍を取得)が出ています。

今まで日本では佐藤栄作さんが唯一、ノーベル平和賞を受賞していますが、5月になり、ある日本人が正式にノーベル平和賞候補となったことが、新聞各紙に掲載されました。みなさんは、だれがノーベル平和賞候補になったと思いますか？そして、その人は何歳くらいで、どのような活動をしていると思いますか？

「さあ、みんなで、考えよう！」

5月、6月の講演会や研修会の案内

- 5月 22日(火) 柘植地域人権啓発合同事業 フィールドワーク(近隣) (9:30 ~ 12:20)やまなみ工房
- 5月 25日(金) いがまち同研総会後の研修会 (20:10頃(総会終了後 ~)ふるさと会館いが
「3つの子どものネグレクト死事件を取材して ~ルポライターの視点から~」(杉村春さん) [フリーライター]
- 5月 26日(土) 三重県人教定期総会学習会 (14:30 ~) 三重県人権センター
「へこたれへん ~ひとはきつとつながれる~」(松村智広さん) [みえ人権教育・啓発研究会]
- 5月 29日(火) 青山文化センター人権・解放講座 (19:30 ~) 青山文化センター
「へこたれへん ~ひとはきつとつながれる~」(松村智広さん) [みえ人権教育・啓発研究会]
- 6月 8日(金) 第31回「せいかつ」実践交流会 (終日) 三重県総合文化センター
「部落問題学習をすすめるために大切にしたいこと ~自らが出会いを通して学んできたことを軸に~」(多賀仁さん) [大阪市立住吉中学校]
- 6月 19日(火) 青山文化センター人権・解放講座 (19:30 ~) 青山文化センター
「すべての人に「やさしい避難所」を目指して~男女共同参画の必要性と多様性配慮~」(服部亜龍さん) [フレンドみえ]

「高校生平和大使 ノーベル平和賞候補」

～ 新聞各紙に掲載された記事内容からの概要 ～

高校生平和大使は1998年、インドとパキスタンの相次ぐ核実験を機に長崎でスタートしました。長崎の高校生2人が地元の平和運動家らと共に、反核署名を携えて、アメリカのニューヨークにある国連本部を訪ねたのが始まりです。派遣委員会が毎年、被爆地の長崎や広島を中心に各地から公募し、高校生平和大使を選出し、これまでに約200人が高校生平和大使に就任して活動し、167万7千筆あまりの戦争・核兵器廃絶の署名を国連に届けています。

今年1月、国会議員25人を推薦人とする推薦状をノルウェーのノーベル委員会に送り、3月には長崎と広島の高校生平和大使2人がノーベル委員会を訪れ、日頃の活動などを報告しました。4月20日、正式な平和賞候補になったと連絡がありました。

核兵器廃絶を求める署名を国連に届ける活動続ける「高校生平和大使」が今年のノーベル平和賞の候補になったのを受け、長崎と広島を中心とした市民団体「高校生平和大使派遣委員会」が5月10日、長崎市役所で記者会見をしました。

派遣委員会共同代表の平野伸人さんは「夢みたいな話で、率直にうれしい」と喜ぶ一方、「賞をもらうことが目的ではなく、この活動がより一層影響を与えていくことが目標。みんなが世界平和を願う雰囲気を平和大使が作ることができれば、候補になったことが生きる」と話しました。

「高校生平和大使」とは

「高校生一人署名実行委員会」ホームページより抜粋

1998年5月、核拡散防止条約(NPT)に加盟していないインドとパキスタンが相次いで核実験を強行し、被爆地の市民は核拡散に危機感を募らせました。「ながさき平和大使大集会」(現在は「高校生平和大使派遣委員会」)に参加する約50の平和団体は核の惨禍を知る被爆地ヒロシマ・ナガサキの声を世界に伝えるために未来を担う若者を「高校生平和大使」として国連に派遣することにしました。

1998年から毎年、高校生平和大使は国連を訪問し、核兵器廃絶と平和な世界の実現を訴えてきました。1999年の第2代まではアメリカ・ニューヨークの国連本部へ、2000年第3代からは軍縮会議が開かれるスイス・ジュネーブの国連欧州本部を訪問しています。高校生平和大使は国連では「ヒロシマ・ナガサキ・ピース・メッセンジャー」として認知され、その真剣な言動は国連で高い評価を得て大きな成果をあげています。2007年にはブラジル・韓国から及びペルー籍の高校生平和大使が、2012年にはブラジルの高校生平和大使が参加しました。2013年第16代は、外務省ユース非核特使第1号の委嘱を受け、2014年には第17代高校生平和大使の代表が、民間人として初めて軍縮会議本会議場でスピーチを行いました。また、2012年10月には、高校生平和大使の活動について、外務大臣感謝状が授与されました。

高校生平和大使は毎年公募で選ばれます。国連から帰国後も各地での活動報告や修学旅行生との交流など、6月の結団式から約1年間活動します。

高校生1万人署名活動

「高校生1万人署名実行委員会」ホームページより抜粋

発足のきっかけ

2001年1月、高校生平和大使募集をきっかけに集まった高校生たちは、核兵器廃絶をめざす活動を自分たちの力で考え、署名活動を立ち上げました。核兵器廃絶と平和な世界の実現をめざす「高校生1万人署名活動実行委員会」の始まりです。発足当初は、高校生の署名を集めようと考えていました。その頃、長崎の高校生は1万人くらいいるだろうということで、「高校生1万人署名活動」としました。

署名活動

毎年秋の実行委員会立ち上げから翌年8月の集約集会までの約1年間、各自の学校や街頭で署名活動を行っています。核兵器の廃絶と平和な世界の実現をめざす「高校生1万人署名」には、高校生だけでなくどなたでも署名することができます。8月に集約された署名は、高校生平和大使によって国連欧州本部へ届けられます。これまでに提出した署名は167万筆を超え、全て国連に永久保存されることになっています。国連欧州本部には、高校生1万人署名簿の展示棚があり、2011年11月に開設された常設原爆展にも、署名簿の一部が展示されています。

実行委員会の活動

実行委員会の活動は署名活動だけにとどまらず、平和な世界の実現のための活動を展開しています。国内だけでなく、韓国やフィリピン、ブラジルなど海外へも活動が広がっています。修学旅行で長崎を訪れる中高生や留学生との交流や、地震などの災害発生時の救援募金活動も行います。また、長崎以外にも、福岡、大分、熊本、佐賀、広島、大阪、奈良、静岡、神奈川、東京、新潟、岩手、福島、北海道などに拠点があり、それぞれに活動しています。

在韓被爆者問題への取り組み

原爆被爆者は日本人だけではなく、韓国にも広島・長崎で被爆しその後帰国した被爆者がたくさんいますが、未だに十分な援護が受けられていません。2003年より韓国を訪問し、在韓被爆者の皆さんとの交流や韓国の高校生と現地での署名活動などを行っています。また、韓国の高校生を毎年長崎へ招待し、学習や交流を深めています。

世界へ広がる1万人署名活動

1万人署名活動に取り組んできた卒業生が、留学先で署名活動を広げたり、交流を続けているフィリピン・韓国の高校生が現地で署名活動をするなど、署名活動は世界へも広がっています。ブラジル・サンパウロには、在ブラジル原爆被爆者協会の招きで高校生が訪問し、署名活動を行いました。また、手紙と署名用紙を送ったアメリカの高校2校から返事が届き、カリフォルニア州ダン高校を高校生が訪問しました。他にも、オランダ・ニュージーランドなどから署名が届いています。

高校生1万人署名活動の合い言葉は、

「ビリョクだけどもリョクじゃない」です。

「自分たちにも出来ることがある」「自分たちが思って行動することはゼロではない」と思い、実際に行動を起こしている高校生の地道な活動が平和の創造にとって世界が注目する活動になっています。私たち拓植地域でも、彼らの活動に元気をもらい、人権を大切にしまちづくりをすすめていきたいと思えます。

ながさき し じん へい わ けん しょう 長崎市市民平和憲章

わたし ながさき ふる かいがいぶん か まどぐち はつてん しょうがいこく こうりゆう つう ゆた
私たちのまち長崎は、古くから海外文化の窓口として発展し、諸外国との交流を通じて豊かな文化をはぐくんできました。

だいに じ せ かいたいせん まつ き しょう わ ねん (1945年) 8月9日、ながさき げん し ばくだん おお ひ がい う
第二次世界大戦の末期、昭和20年(1945年)8月9日、長崎は原子爆弾によって大きな被害を受けました。私たちは、過去の戦争を深く反省し、原爆被爆の悲惨さと、今なお続く被爆者の苦しみを忘れることなく、長崎を最後の被爆地にしなければなりません。

せ かい こうきゆうへい わ じんるいきようつう ねが
世界の恒久平和は、人類共通の願いです。

わたし ながさき し じん に ほんこくけんぽう にか へい わ き きゆう せいしん もと じんしゆしゆぎ へい わ あんぜん
私たち長崎市民は、日本国憲法に掲げられた平和希求の精神に基づき、民主主義と平和で安全な市民生活を守り、世界平和実現のために努力することを誓い、長崎市制施行百周年に当たり、ここに長崎市民平和憲章を定めます。

わたし たが じんけん そんちよう きべつ おも あか しやかい つと
1. 私たちは、お互いの人権を尊重し、差別のない思いやりにあふれた明るい社会づくりに努めます。

わたし じ だい にな こども せんそう おそ げんばく ひばく たいけん かた つた へい わ
1. 私たちは、次代を担う子供たちに、戦争の恐ろしさを原爆被爆の体験とともに語り伝え、平和に関する教育の充実に努めます。

わたし こくさいぶんか と し せ かい ひとびと こうりゆう ふか こくれんなら せ かい かくと し
1. 私たちは、国際文化都市として世界の人々との交流を深めながら、国連並びに世界の各都市と連帯して人類の繁栄と福祉の向上に努めます。

わたし かくへい き も も ひかくさんげんそく まも くに たい げん
1. 私たちは、核兵器をつくらず、持たず、持ちこませずの非核三原則を守り、国に対してもこの原則の厳守を求め、世界の平和・軍縮の推進に努めます。

わたし げんばく ひばくと し し めい かくへい き きよう い せ かい うつた せ かい ひとびと ちから あ
1. 私たちは、原爆被爆都市の使命として、核兵器の脅威を世界に訴え、世界の人々と力を合わせて核兵器の廃絶に努めます。

わたし ながさき し じん けんしょう り ねんたつせい へい わ し きく じつせん けつい くに
私たち長崎市民は、この憲章の理念達成のため平和施策を実践することを決意し、これを国の内外に向けて宣言します。

へいせいがんねん がつ にち ながさき し ぎ かい ぎ けつ
平成元年3月27日 長崎市議会議決

つ げ ち い き きよう ぎ かいじんけんけいはつごうどう じ ぎようじつこう いんかい
柘植地域まらづくり協議会人権啓発合同事業実行委員会より

が つ ちゆうしん か つ く まいとしおこな つ げ ち い き じんけんえい が じようえいかい じようえいさくひん
6月を中心に各区内で毎年行っている「柘植地域人権映画上映会」の上映作品
いちらん が つ ついたち はい ふ よ てい さそ あ う え さん か ねが
一覧と6月1日に配付予定です。お誘い合わせの上、ご参加とお願いいたします。